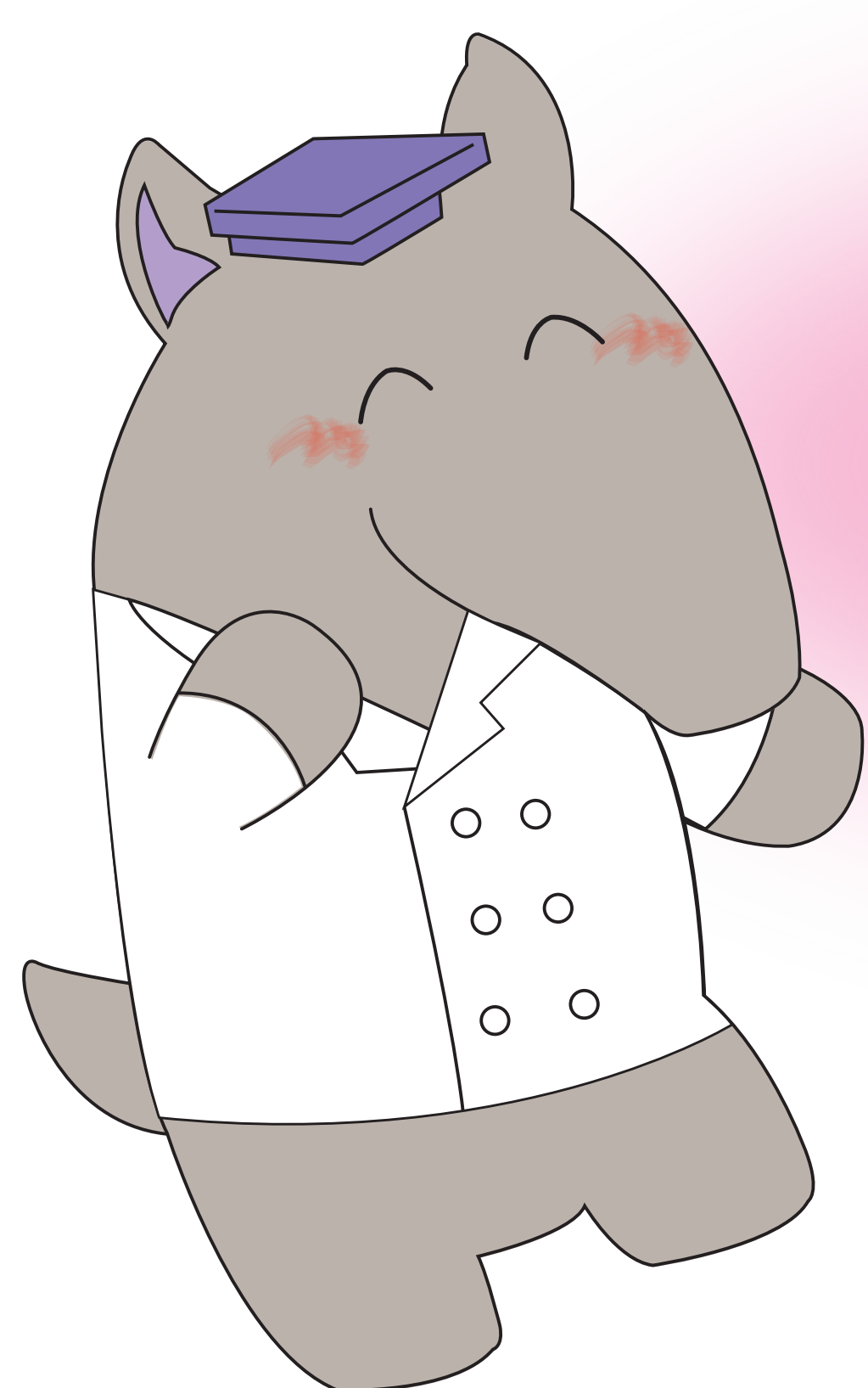


介護福祉士が大切にしていること

- ・認知症の人の不安や不快、緊張の連続である生活を知り、一人ひとりの「固有の特性」つまり、個別の生活歴やなじみの習慣、好き嫌いを知ること。
これこそが、「安心」や「ここちよさ」につながります。
- ・「わからない」「できない」ことだけに注目せず小さな部分でも「わかる」「できる」力を見つけて、チャンスをつくります。
それが、自信にもなります。

このかかわりを具体的にみてみると

- ・目線・視線を合わせ、笑顔で向かい合う。
- ・ゆったりとしたテンポ。動作を持つ、単純に一つずつ。
- ・そっと見守る。
- ・うなすぎや身体に触れ、全身をコミュニケーションの道具に。
- ・動きや言葉の部分だけでなく、心の動きから全てを感じる。
- ・時間がかかっても一緒に行ってみる。



つまり、認知症ケアの第一歩は…

その人を知って考えること！

